

オープンホスピタル高校生の部

2011年度 感想文

県立コザ高校 3年 屋良 夏生

この度は、オープンホスピタルを開いていただきありがとうございました。今回はコザ高校生が多く、緊張せず体験しやすかったです。友達どうして看護師について話せるので良かったと思いました。

人生初の白衣を着て、たくさんの体験をさせていただきました。正直、将来は看護師になりたい!と決まっていますが、実際はどんな事しているのかまでは、話を聞くだけで、とても曖昧でした。

でも、このオープンホスピタルを通して、将来の目的が明白にわかった気がします。

普段、入ることのできない手術の現場など、雰囲気を肌で感じることができ、その姿に感動しました。私が興味をもったのは、NICUです。両親しか入ることのできない場所に入って、本当に小さい赤ちゃんを初めて見ました。こんなに小さくても、一生懸命生きようとしているのだなと感動しました。そして、とても可愛かったです。

病院で患者さんの事を第一に考えて携わっていらっしゃる方々を見てあらためて医療の素晴らしさを知ることができました。

私も将来、医療に携われるように頑張ろうと思います。

コザ高校 3年 城間 優菜

オープンホスピタルに参加して、普段は見ることのできないいろいろな場所を見学知ることができ、病院には、医師・看護師以外にもいろいろな職業の方が関わっていることを知ることができました。また、看護師の働いている姿を見ることができ、将来こんな風になりたい!と思うようになりました。

今回オープンホスピタルに参加することができ、いろいろ勉強になりました。

ありがとうございました。

球陽高校 3年 大城 みやび

今回のオープンホスピタルに参加して、とても貴重な体験をすることができました。普段見ることができない病院の内部まで見学できて良かったです。このような企画をさせていただいてありがとうございました。

このオープンホスピタルでは ER、放射線、薬剤、栄養、OR、検査、などたくさんの方を見学しました。私は病院見学をすることが初めてということもあり、見たこともないものが見られて驚きと感動の連続でした。

私は検査技師になるのが夢で、特に検査や放射線に興味があったのでとてもためになりました。実際に現場を見て病院で働くということがどんなに大変であるかということを感じました。

他にも手術室で手術を見学したこともとても印象に残っていて、普通は見ることができないものが見られて本当に良かったなと思います。今まではどんな仕事をしているのか詳しくは知らなかった栄養での話なども聞いて、想像以上に大変な仕事だと感じ、やはり病院は大きなチームであり、一人一人が責任をもって仕事をし、チームワークがとても大切ということを感じました。

今回この企画に参加して色々なことを感じ、さらに病院で働くことは素晴らしいなと思いました。私の夢である検査技師はもちろん、他の職業もとても魅力的だと感じました。実際に見ることで良い刺激になり、これからの将来につなげていけたらいいなと思います。

中部病院内ではどの場所に行っても皆さん丁寧に対応してくれて、色々な話や説明をしてくれたので、医療に関わる仕事に就きたいと思っている人はぜひ参加した方が良いでしょう。私もこの企画で感動や希望をもらい、将来自分がどうありたいか、などを深く考えさせられました。

私が医学部に入学でき、研修する際には中部病院に希望を出したいと思います。そう思える素敵な病院を見学することができたことをとても嬉しく思っています。

最後にこの企画に関わった多くの方々に本当に感謝します。

ありがとうございました。

球陽高校 3年 佐久本 可奈子

今回はオープンホスピタルに参加させていただきありがとうございました。

病院の普段は絶対に見られない場所まで見学させてもらって本当にいい経験が出来ました。オペ室や栄養管理や救命救急、放射線照射など初めて見学するところも多く、非常に勉強になりました。

また、直接看護師の方たちからもお話を伺うことができ、とても参考になりました。

今後もこのような経験をもとに夢に向かって前進していきたいです。

今回はこのような場を設けていただき本当にありがとうございました。

球陽高校 3年 安次富 美咲

こんな忙しい中、オープンホスピタルを開いてくれて、私たちにこんな貴重な体験をさせてくれて、本当にありがとうございました。

手術室や、放射線室や、救急救命室など見学してみて、普段見れない所を見る事が出来て、他の職業にも興味が湧いたし、どの場所にも看護師が携わっている事も知ったし、先輩達の話も聞いて、さらに興味が湧いて、頑張って看護師になりたいなと思いました。

一番印象に残った事は、やっぱり手術室もすごかったけれど、NICUの赤ちゃん達に感動しました。あんなに小さく生まれてきたのに、3キロまで成長する赤ちゃん達を見て、人間ってすごいなと感じました。

この体験ですごく刺激になったので、看護師になって、今日学んだ事を将来で生かしていきたいなと思いました。

本当にありがとうございました。

沖縄県立コザ高等学校 ステッドメン アリーシャ

私は幼い頃から看護師になりたいと思っていたのですが周りに看護師の仕事をしている人がいなかったのが実際にはどのような仕事をしているか詳しくはわかりませんでした。そこにこのオープンホスピタルがあるときいたので実際の医療現場を見てみたいと思い参加しました。

オープンホスピタルでは病棟やオペ室・NICUなど八か所の場所を見学しました。普段私が見ているのはお医者さんと看護師さんだけだったのでこんなにたくさんの仕事があると初めて知りました。実際に手術をしている所を見学したり受付の裏や備品の管理をしている場所・検査室など普段一般の人が入ることができない場所を見学する事ができました。

一番印象があったのはNICUです。NICUは低体重で生まれた子や何らかの疾患をもって生れてきた新生児を集中的に管理・治療を行うところです。実際見た赤ちゃんはとても小さくて、私は3000gくらいの赤ちゃんしか見たことがなかったのでとてもびっくりしました。赤ちゃんの様子を見に来ていたお母さんやお父さんがとても幸せそうで私もずっと顔が緩みっぱなしでした。とてもかわいかったです。

見学が終わった後は中部病院で働いている看護師さんとの質問できる時間があっていままで疑問に思っていたことをたくさん聞くことができたし看護師の仕事がたくさん知ることができました。

今回オープンホスピタルに参加したことで看護師になりたいとあらためて強く思いました。今回見たこと・聞いたことを忘れずにこれから看護師になるために頑張っていきたいと思えます。

今回は忙しい中私たちにこのような企画をしてくださってありがとうございました。
とても貴重な体験ができて楽しかったです。

球陽高校 3年 又吉 里奈

今回、このオープンホスピタルを体験して学べたことがたくさんありました。「看護」と「患者」という言葉の成り立ち。それで今の医療があるということ。「医療」という本来の意味を知り、普段の生活では見られない、とても貴重な体験になりました。実際オペを行っている手術室へ入ったり、ERやNICUなど、普段では入ることが出来ない所へ入ることが出来ました。また総合病院は、看護師や医者だけではなく、患者一人一人考えられたお薬や食事。それを支える、薬剤師や調理師、栄養士など様々な職種の方たちがそれぞれ重要な役割を果たしていることがわかりました。また、看護師さんとの対談があり、本当に貴重なお話しが聞けました。このような場を設けて頂き、本当にありがとうございました。

今回の体験で私はさらに、看護師になりたい、たくさんの人を救いたい！という気持ちが強くなりました。この気持ちを忘れずに、今後の受験生活をすごしていきたいと思います。

コザ高校 伊波 慶亮

私は将来看護師になりたいという夢があり、その仕事の現場を自分の目で見て、どういう仕事なのかというのを知りたいと思いオープンホスピタルに参加しました。

オープンホスピタルを体験して思ったことは、想像していたよりもたくさんの仕事を病院が成り立っているということです。そして自分の知らなかった仕事が多くあることに気がつきました。また、普段はみれない病院の内部を案内してもらい貴重な体験をさせていただきました。案内が終わったあとも、院長先生のお話や病院の看護師の方との対談の時間があり、看護師として大事なことや看護師の仕事は大変だけど、とてもやりがいのある仕事であると話を聞いて、看護師になりたいという思いが強くなりました。

今回のオープンホスピタルは楽しく、とても貴重な体験をすることができ、参加して良かったと思いました。ありがとうございました。

中部農林高校 3年 與儀 和嘉菜

今回、オープンホスピタルに参加して、とても貴重な体験をすることができ、また、看護

師の方のお話を聞くことができ、本当にいい経験ができました。

普段見ることのできない、手術室や救急救命室、放射線室、NICU などを見学し、どこもチームワークが大切でチームの一人でも欠けるとダメなんだなと思いました。また、一人の患者に医師だけでなく様々な職種の方々が関わっているということも知りました。

私は、今回の体験で進路を固めることができました。

オープンホスピタルを開いていただき、本当にありがとうございました。

球陽高等学校 仲本レイラニ梨乃

今回のオープンホスピタルは、看護師を目指している私にとってとても貴重な体験になりました。

普段は見ることのできないような病院の内部を見学したり、実際に医師や看護師から医療機器や病院内のシステムについての説明を受け、これまで知らなかった多くの知識を得ることが出来ました。

正直なところ、これまでは栄養士という職業に対する関心があまりありませんでしたが、実際に栄養士の方の話を聞くことによって、栄養士は患者さんのある程度の要望を聞き入れ、その人に合う食事を取り入れたり、患者さん一人一人に会って食事が口に合うかどうかを直接確認したりしている事を知り、栄養士に対し、関心を持つようになりました。そのほかにも様々な発見や経験をし、より一層、医療従事者や医療の世界に対する興味が深まりました。

この一日の体験を通して、看護師になるという夢へ一歩近づけた気がします。今回の経験を活かし、将来は患者さんの患部の治療の支援だけでなく、精神面でも支えになれるような看護師になりたいと思っています。

忙しい中、今回のオープンホスピタルの開催を支援し、協力してくださった皆さま、本当にありがとうございました。

球陽高等学校 奥間 由妃

今回のオープンホスピタルを通して、看護師や医師などの職業ではなく、普段は見ることができない職業の人たちや、手術室や NICU、救急や調理室、放射線室などドラマとかテレビでしか見たことのない場所にも見学できたり、すごい感激しました。

また、放射線技師や栄養士の方の話を聞いて病院はいろいろな職業の人たちで成り立っているんだなあ、と思いました。

病棟で働いている看護師さんとの対談をして、実習のときや看護師なって一年目の話を聞

いて、やっぱりそれなりに大変だけどやりがいがあるんだと思いました。
このオープンホスピタルでモチベーションも上がり、もっと医療について知りたくなりました。
このような機会を作ってください、本当にありがとうございました。

球陽高等学校 仲田 真実

今回のオープンホスピタルを体験して、看護師、助産師になりたいという気持ちが強くなりました。

オープンホスピタルではいろんな科を見学することができました。特に、NICUの見学のときはNICUの器具を間近でみる事が出来てその中で赤ちゃんが小さい身体で一生懸命生きているのを見て感動しました。また、双子の赤ちゃんを抱っこすることができ私の腕の中で眠っているのを見てとても癒されました。

そして、そこで働いている看護師さん助産師さんたちが自分の子供のように赤ちゃんを可愛がっていて自分もこんな看護師さんになりたい!って思いました。

その他、小児科の病棟には保育園みたいなどころがあることを知ってすごいな一と思いました。そこで遊んでいた女の子がとても元気で私もその子と話して元気をもらいました。手術室では実際の手術を間近でみる事が出来ました。私が思っていたドラマみたいな手術室の雰囲気ではなくとても意外でした!

今回忙しい中各科で細かい説明ありがとうございました。

最初は1日中って長いな〜って思ってたけど実際に体験してみると時間はあっという間でとても充実した1日でした。

この体験で学んだことはたくさんありますがとくに、自分が変わったなって思ったことは院長が講演会、話し合いのときは必ず1こは質問しなさい。そうじゃないともったいないよ!と言われてそのあとから実践するようになりました。

これからももっと勉強して看護師になるために頑張っていきたいです。

今回は本当にありがとうございました。

これからも患者さんのためにお仕事頑張ってください!